



貴
金
樹
麓

DOUJIN
R18
ADULT ONLY




テメエみないなアバズレに
屁でも出してやらんぞ!

負け犬の首を斬り落とす前に
最後の遠吠えが聞きたいか?



…ケツ

なんだあ?




控え！
蛮人の戦士よ

こんな僻地に
朽ち果てる
気は無からう


ここで無様に
野垂れ死ぬより

我が王と成り

共に黄金樹の時代を
切り開こうではないか



よそ者の小娘の
下僕になるつもり
端っからないが



その瞳に放つ
金色の輝きを
見てると

稚拙ながらも
純粹な意志を感じる

その黄金樹の時代とやら…
見てみたくなってきた



なんだよ
部屋を暗くに
しちゃって

我らは
もう夫妻

閨事を共にするが
道理であろう

はよ衣を
外さぬか

はあ？

い…今か？

ここですか！

お…

おいっ
こら！

なにことか
この軟弱さ

急に言われても
しょうがねえじゃん…

我が命ずる
なんとかさせよ

無理だ

何をする！

ちょ

まさか我が王は
こういう見苦しい
輩とは

恥を知れ

ちよ

ちよ

ちよ

ちよ





お
おまえ...

気に召したか
我が王よ

ま...
まあな



え？

悪りい
俺はもう
我慢できねえ

あ……あ……



他の者に
言うでないぞ
我が口で
奉仕したことを……



フ……フレイ！

急がれるな……！

む……
ふぬっ！

ビーン

ビーン

あ……



おおお...

おまえ
すげえな!

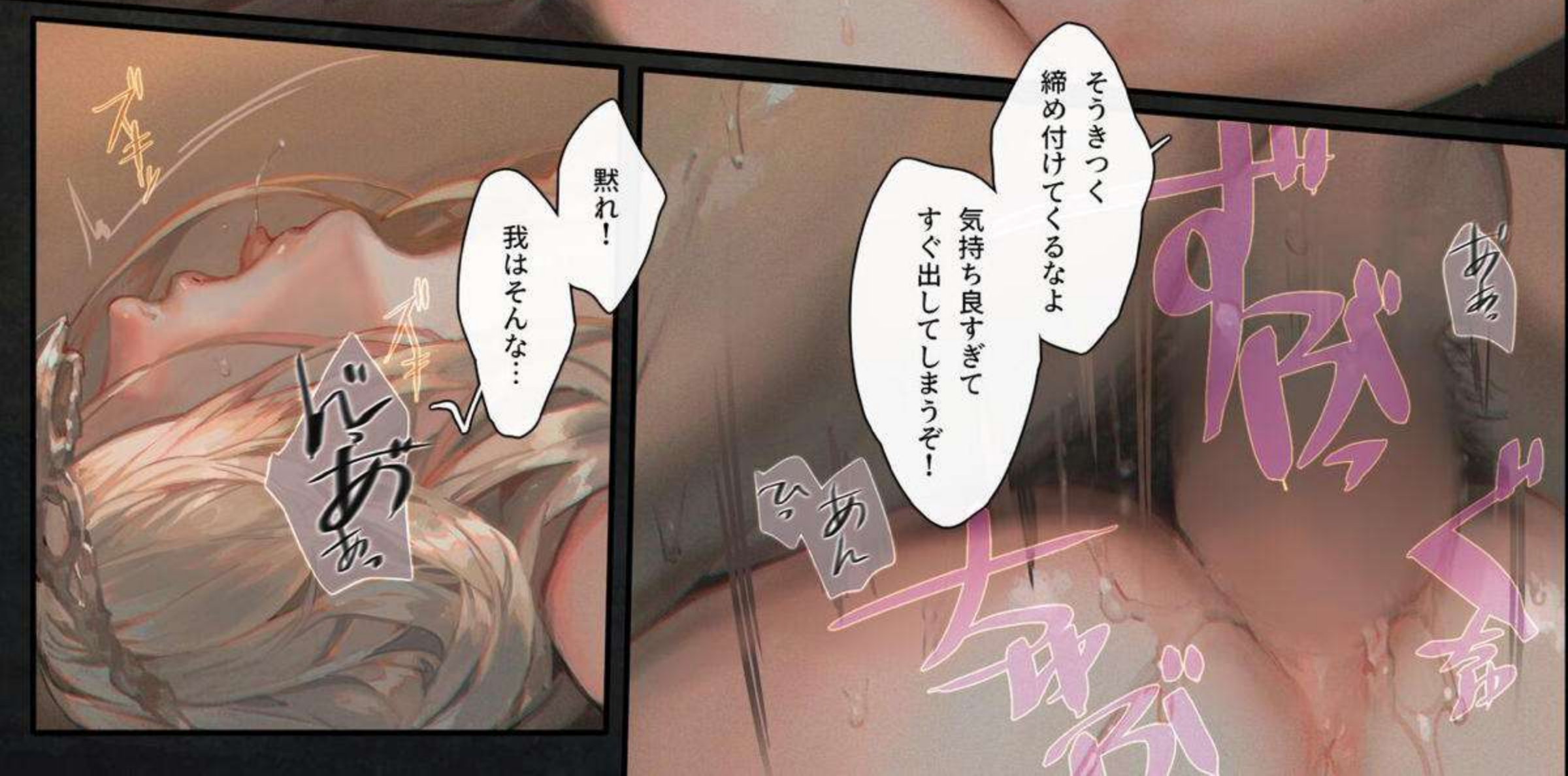
ぬるぬるして
あったけえぞ!

んあ

ぶ...無礼者!

わ...我を
侮辱する気か!

はあ



そうきつく
締め付けてくるなよ

気持ち良すぎて
すぐ出してしまおうぞ!

んあ

黙れ!

我はそんな...

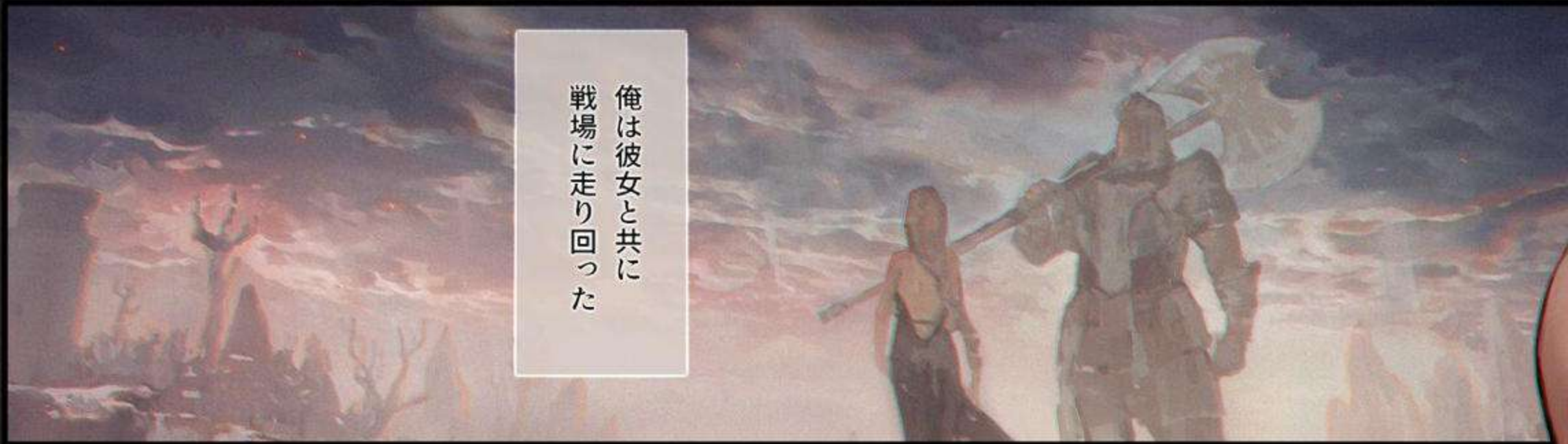
んあ

ああ
すげえ
女が





力入りすぎ
たかも…
大丈夫か？

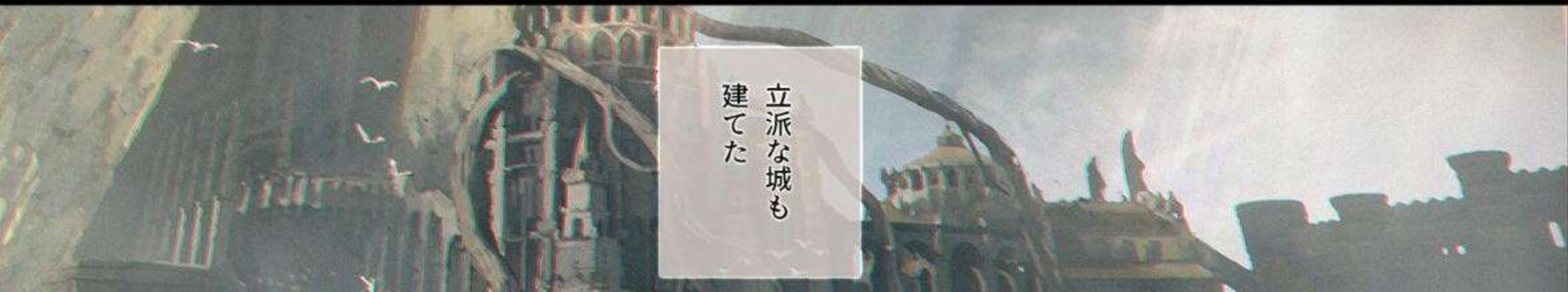


俺は彼女と共に
戦場に走り回った



巨人たちを屠った

この世界から
火の脅威を遠ざけた



立派な城も
建てた



俺たちは
子供を授かった



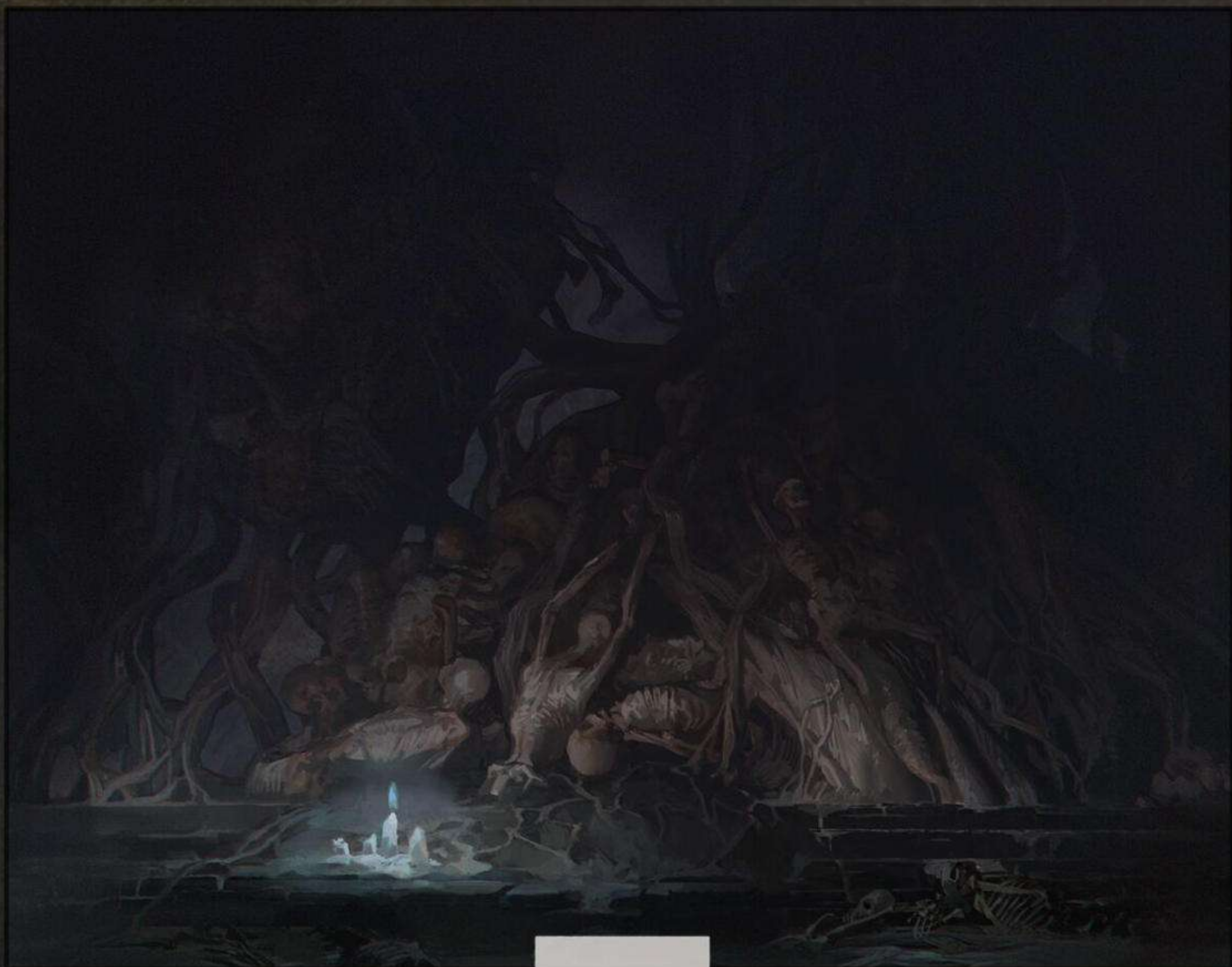
それから



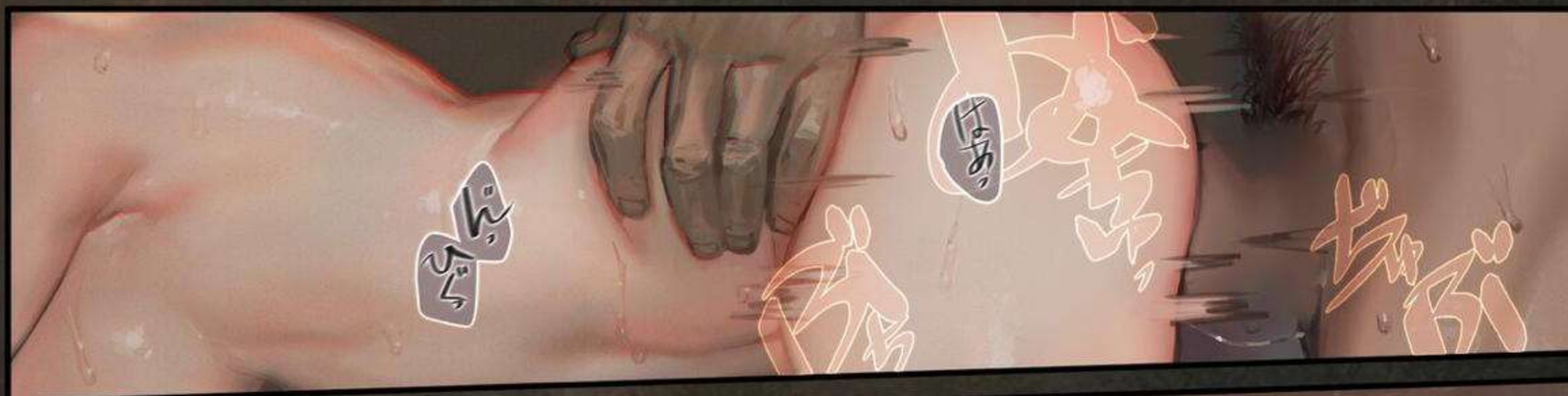
彼女の言う
通りに

永遠に続くと
思っていた

この極まれり
栄華な黄金の時代



少なくともあの時
俺は思っていた





俺が手伝える
ことがあれば
言ってくれ



あの指野郎の相手は
できねえけどよ…

…なあ
なんかおまえ
最近元気ないぞ



我は己の使命
成し遂げるべく
全てを
棄て去っても

…時に



当時の俺は
彼女の言葉の意味を
理解しきれてなかったが

その瞳から抑えきれぬ
不安が染み出してても



王は…
我を護って
くれるか？

奥に秘する意志は
初めて出会った時と
変わりはない



それからしばらく
俺は独りで征伐の
旅路へ乗り出した



俺がいない間に
色々あったと聞いた

どこぞ知らない
赤い髪の小僧が
英雄と名乗ったとか

西にいる魔法使いの
連中と手を結んだとか



再び彼女の側に
寄り戻った時は

もう大陸の南に
一番遠い島を
制した後のことだ



彼女は…

美しいままだが
どこか変わった



マリカ…



今宵の我は

ただ王に抱きしめる
妻として在りたいのだ



なにか俺に
言いたいこと…



よいか？





あの夜
彼女は多く
語れなかった

ただ静かで
俺を抱いて

まるで別れを
告げるのように
俺も黙っていたままだ

次の日

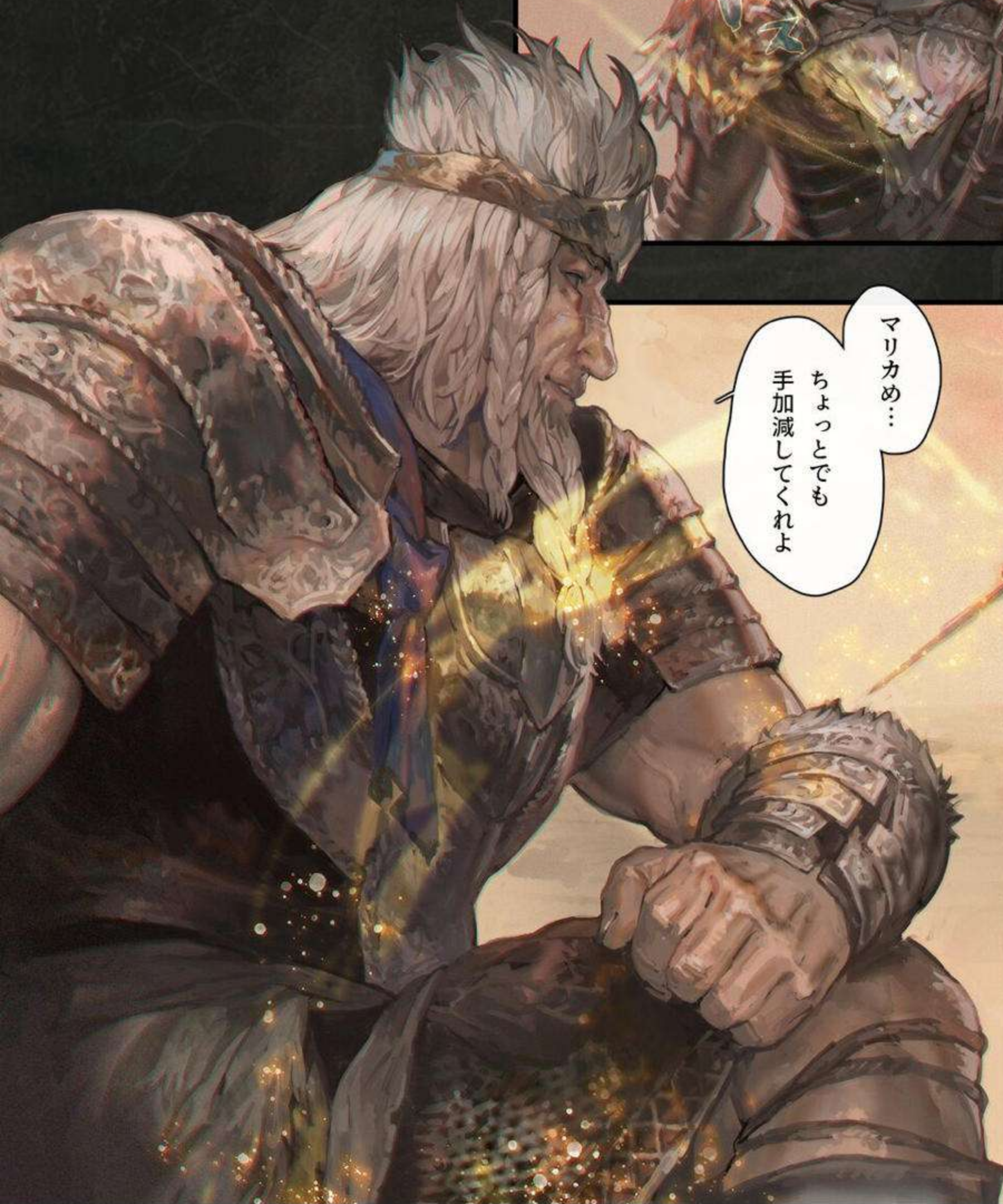
俺の目は
色褪せた







ハハ…



マリカめ…
ちよつとでも
手加減してくれよ





